

再評価対象事業の概要

平成17年11月

北陸地方整備局

平成17年度 第2回北陸地方整備局事業評価監視委員会 再評価対象事業一覧表(道路事業)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23					
事業種別	路線番号	事業名称	箇所名(起終点)	事業概要	事業延長(km)	区分	事業化年度	都市計画決定又は変更年度	用地着手年度	工事着手年度	供用延長(km)	全体事業費(億円)	事業進捗率	費用便益比B/C	総費用(億円)	総便益(億円)	基準年	事業をとりまく社会状況等	事業の効果等	事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	事業の進捗状況 残事業の内容	事業の状況及び今後の見通し	工法の変更等	地方公共団体の意見	対応方針(原案)		
1	新潟	2次	8	直江津バイパス	新潟県 上越市大潟区犀潟 ～ 新潟県 上越市虫生岩戸	交通混雑の緩和、地域開発の支援、地域ネットワークの充実強化等を目的とした事業。	12.2	D	S41	H10	S42	S43	12.2 (3.0)	360	55%	1.8 (1.8)	550 (110)	979 (201)	H17	・暫定2車線供用区間の交通量は、現況で26,000台/日と2車線の交通容量を大きく超過。 ・一般国道8号は上越地域の道路交通において基幹的な役割を担う重要路線である。	・現道等の渋滞損失時間を削減 ・旅行速度の改善 ・新幹線駅及び特急停車駅へのアクセス向上 ・重要港湾へのアクセス向上 ・日常活動圏中心都市へのアクセス向上 ・三次医療施設へのアクセス向上 ・緊急輸送道路ネットワークの信頼性の向上 ・CO2、NO2、SPMの排出削減 ・騒音の低減	・バリエーション沿線に各種施設立地 ・市町村合併 ・交通量の増加	<事業の進捗状況> ・昭和45年～昭和46年 上越市大潟区犀潟～ 上越市石橋間 暫定2車線供用 昭和49年 上越市石橋～ 上越市虫生岩戸間 暫定2車線供用 昭和53年 上越市三屋～ 上越市下源入間 4車線供用(W=24.0m) 昭和61年 上越市下源入～ 上越市石橋間 4車線供用(W=24.0m) 平成4年～平成6年 上越市頸城入口～ 上越市三屋間 ：完成4車線供用 平成13年度 上越市石橋～ 国府間(L=1.1km) ：完成4車線供用 平成13年 上越市下荒浜～ 頸城入口間(L=1.6km) ：完成4車線供用 <残事業の内容> ・上越市大潟区犀潟～ 下荒浜(L=3.0km)での 用地取得及び4車線化 ・下源入交差点、黒井交 差点の用地取得及び 立体化 ・三ツ谷～石橋間の 都市計画幅員での 拡幅	・残る犀潟～下荒浜の4車線化、都市計画幅員に合わせた拡幅及び交差点の立体化については、交通状況を勘案しつつ平成30年代半ばの完成供用を目指す。	・直江津バイパスは、地形や土地利用、主要幹線道路等との接続などに配慮した路線計画となっており、期待される効果は大きい。 事業は暫定供用を含み全線供用済である。 ・交通状況を勘案しつつ引き続き整備を推進するが、早期効果の発現に向け、交差点の方向別車線の追加や都市計画幅員内の車線増設といった暫定運用を検討し、地元の合意を得ながら整備を進めていく。 ・施工にあたっては、新技術、プレキャスト製品の積極的な活用及び大型化(長尺化)、再生材の活用等により、今後一層の建設コスト削減に努める。	・上越地方振興促進会議 ・新潟上越地区国道事業推進協議会 ・上越市市町村議会議長連絡会議 ：建設促進	事業継続
2	石川	2次	8	南郷拡幅	石川県 加賀市黒瀬町 ～ 石川県 加賀市熊坂町	交通混雑の緩和、広域幹線ネットワークの形成、観光の支援等を目的とした事業。 現在、加賀市黒瀬町～加賀市熊坂町間の完成4車線供用に向けて事業を実施中	4.7	D	S51	S58	S54	S55	2.6	180	77%	1.7 (2.3)	286 (46)	475 (107)	H17	・一般国道8号は北陸経済圏と関西・中京経済圏を連絡する陸上輸送の大動脈であるとともに、地域間の交流機会の増大や活性化を支援する重要な役割を果たしている。 ・南郷拡幅事業区間は、交通混雑の慢性化などにより、日常生活及び社会経済活動における社会損失、安全性の低下などの課題が発生。	・現道等の渋滞損失時間を削減 ・路線バスの利便性の向上 ・小松空港へのアクセス向上 ・主要な観光地へのアクセス向上 ・緊急輸送道路ネットワークの信頼性の向上 ・高速ネットワークの代替路線 ・CO2、NO2、SPMの排出量削減	・交通量の増加	<事業の進捗状況> ・平成元年度 加賀市南郷町～ 細坪町(L=1.2km) ：完成4車線供用 平成13年度 加賀市黒瀬町～ 南郷町(L=1.4km) ：完成4車線供用 <残事業の内容> ・細坪町～熊坂町間(L=2.1km)での 用地取得及び工事	・用地買収、工事を促進中。 ・平成20年末の全線完成供用を目指す。	・南郷拡幅は、地元・関係機関等との協議・了解により既に93%の用地買収が完了している。 事業が現道拡幅であるため、構造、規格や施設規模等は必要最低限で計画している。 ・施工にあたっては、新技術、プレキャスト製品の積極的な活用及び大型化(長尺化)、再生材の活用、建設発生土の有効活用によりコスト削減に努める。	・加賀地区開発促進協議会 ・石川県直轄国道整備促進部会 ・南加賀市議会議長会定期総会 ：建設促進	事業継続

1. (事業種別) 高：高規格、地高：地域高規格、1次：一般1次改築、2次：一般2次改築
2. (事業延長) 上段：総延長、下段：()内書きで事業評価対象延長
3. (区分) A：事業採択後5年間を経過した後も未着工の事業
B：事業採択後10年間を経過している時点で継続中の事業
C：採択前準備計画段階で5年間を経過している事業
D：再評価実施後一定期間を経過している事業
E：その他
4. (供用延長) 上段：供用延長、下段：()内書きで暫定供用延長
5. (事業進捗率) 平成16年度末現在の事業費による進捗率(事業費ベース)
6. (費用便益比) (総費用)/(総便益) 上段：事業全体 下段：()残事業区間

平成17年度 第2回北陸地方整備局 事業評価監視委員会 再評価対象事業一覧表(港湾整備事業)

番号	事業名称	箇所	事業概要	事業採択年度	区分	進捗状況	社会情勢の変化等	事業の効果等	費用対効果	今後の取り組み	地元情勢	北陸地方整備局 対応方針(原案)
1	七尾港大田地区多目的国際ターミナル整備事業	石川県七尾市	・船舶の大型化 ・貨物の増加への対応 ・横持ち・滞船の解消 を目的とする多目的国際ターミナル整備	平成3年度	D	事業進捗率: 64%(平成16年度)	特になし	・船舶の大型化による海上輸送費用の削減 ・陸上輸送費用の削減 ・横持ち・滞船の解消による費用の削減	【総便益】 215億円 【総費用】 187億円 B/C = 1.2	・H19年度多目的国際ターミナルを暫定供用	【整備促進要望】 七尾市 七尾港整備・振興促進協議会	事業継続

区分の内訳 A:事業採択後5年間を経過した後も未着工の事業
B:事業採択後10年間が経過している時点で継続中の事業
C:採択前準備計画段階で5年間経過している事業
D:再評価実施後一定期間経過している事業
E:その他

平成17年度 北陸地方整備局事業評価監視委員会に係る再評価対象事業一覧表（治水：河川事業 1 / 1）

番号	事業名称	区間	基本諸元	事業採択年度及び経過年次	区分	進捗状況 完成堤防率 H16末 ----- 実施中の事業	社会経済情勢等の変化		費用対効果	今後の課題等	地元情勢	北陸地方整備局 対応方針 (原案)	
							過去の主要洪水及び被害状況						
							氾濫が想定される 区域内の市町村人口						
		S55	H12										
	梯川直轄河川改修事業	小松市 能美市 白山市	管理延長：11.2km 目標流量：1,000m ³ /s 治水安全度：1/100	昭和46年度 34年 S46.12：河川法第16条に基づき工事実施 基本計画を策定	D	約30% ----- 引堤及び河道掘削 小松地区改修	(小松大橋・埴田地点流量) S39.7洪水 830m ³ /s小松大橋 S43.8洪水 575m ³ /s小松大橋 S54.8洪水 316m ³ /s埴田 S59.6洪水 443m ³ /s埴田 S60.6洪水 222m ³ /s埴田 H8.6洪水 364m ³ /s埴田 H10.9洪水 709m ³ /s小松大橋 H16.10洪水589m ³ /s小松大橋 (避難勧告：2273世帯 浸水面積：238ha)	6.1 万人	5.9 万人	総便益(B) 20,210(億円) 総費用(C) 1,191(億円) B/C = 17.0	・流下断面不足 ・内水被害の発生 ・老朽化構造物の改築等	事業促進要望 梯川水系河川改修促進期成同盟会 (1市) 災害情報協議会 (3市2町)	事業を継続

区分の内訳 A：事業採択後5年間を経過した後も未着工の事業 B：事業採択後10年間が経過している時点で継続中の事業 C：採択前準備計画段階で5年間を経過している事業
D：再評価実施後一定期間経過している事業 E：その他
主要洪水については基準点でのピーク流量を記載

平成17年度 北陸地方整備局事業評価監視委員会に係る再評価対象事業一覧表（治水：海岸事業 1 / 1）

番号	事業名称	箇所	基本諸元	事業採択年度 及び経過年次	区分	進捗状況	社会経済情勢等の変化		費用対効果	今後の課題等	地元情勢	北陸地方整備局 対応方針（原案）
							侵食状況・被害状況	背後地状況				
1	石川海岸保全施設整備事業	石川県 白山市 能美市 小松市 加賀市	指定延長：17,518m 計画波高：9.0m (1/50確率波) 計画潮位：T.P.+1.21m	昭和32年度 海岸法第3条により 海岸保全区域に指定 昭和36年度 海岸法第6条により 直轄施行	D	本工事中 約37%	<ul style="list-style-type: none"> ・侵食状況 M25～S34年 最大 約320m (相川新地先) ・被害状況 冬期風浪 S48.11 H_{1/3} = 6.96m (金沢港) 冬期風浪（既往最大） H2.12 H_{1/3} = 7.82m (金沢港) 台風15号 H16.8 H_{1/3} = 5.09m (徳光観測所) 	<ul style="list-style-type: none"> 人口 0.6万人 宅地 32ha 農用地 339ha その他 507ha 	<ul style="list-style-type: none"> ・総便益（B） =861(億円) ・総費用（C） =694(億円) ・B/C = 1.2 	<ul style="list-style-type: none"> ・養浜工 ・緩傾斜堤 ・人工リーフ ・離岸堤 ・突堤 	事業促進要望 ・石川海岸整備 促進期成同盟会 (4市)	事業を継続

区分の内訳 A：事業採択後5年間を経過した後も未着工の事業 B：事業採択後10年間が経過している時点で継続中の事業 C：採択前準備計画段階で5年間を経過している事業
D：再評価実施後一定期間経過している事業 E：その他

平成17年度 北陸地方整備局事業評価監視委員会に係る再評価対象事業一覧表（治水：砂防事業 1 / 1）

番号	事業名称	区間	基本諸元	事業採択年度 及び経過年次	区分	進捗状況 H16末 ----- H17実施中の事業	社会経済情勢等の変化		費用対効果	今後の課題等	地元情勢	北陸地方整備局 対応方針 (原案)	
							過去の主要洪水及び 被害状況	氾濫が想定される区域 内の市町村人口					
								S55					H12
1	手取川水系直轄砂防事業	石川県 白山市	水源：白山連峰 流域面積：444km ² 流路延長：41km 平均河床勾配：1/16	昭和2年度	B	19.7% ----- 柳谷上流砂防堰堤群 別当出合床固工群 尾添川第2号砂防堰 堤	S9.7豪雨災害 死者97名、行方不明者16名、負傷者35名、 家屋流出172戸、浸水家屋586戸 H16.5土石流災害 登山用吊橋の流出	67万人	76万人	総便益(B) 4,613(億円) 総費用(C) 3,854(億円) B/C=1.2	・手取川水系 としての総合 的土砂管理	事業促進要望 (白山市、能美市、川北町、 小松市、野々市町)	事業を継続

区分の内訳 A：事業採択後5年間を経過した後も未着工の事業 B：事業採択後10年間が経過している時点で継続中の事業 C：採択前準備計画段階で5年間を経過している事業
D：再評価実施後一定期間経過している事業 E：その他
主要洪水については基準点でのピーク流量を記載